

和歌山FB

野球にかける若者集う 田辺で入団テスト

来季から野球独立リーグに参入する「和歌山ファイティングバーズ(FB)」の入団テストが5日、田辺市上の山1丁目の田辺スポーツパーク野球場であった。全国から17、29歳の26人が参加した。

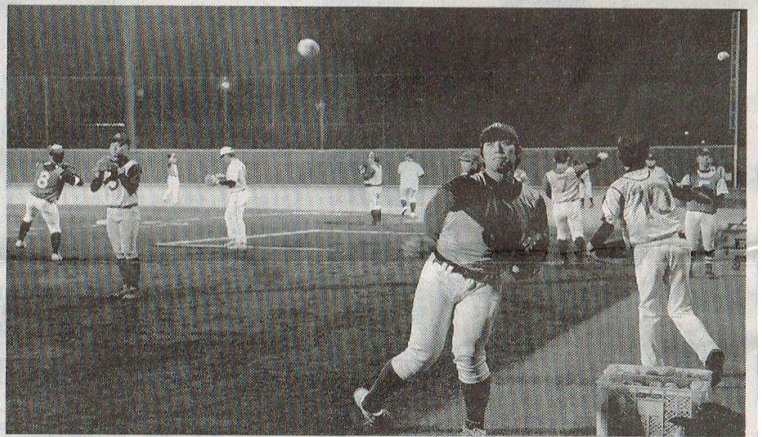
和歌山FBは近畿地方の3球団が参加している「ベースボール・ファースト・リーグ(BFL)」に来年4月から加わる。田辺市が本拠地となるため、1回目の入団テストを田辺スポーツパークで開いた。

大阪府や兵庫県を中心に、遠くは青森県や鹿児島県から参加があった。和歌山県からも5人が参加した。テストは50メートル走り、50メートル走から始まり、ベースランニング、遠投、

守備、打撃、ピッチングがあった。就任したばかりの山崎章弘監督(55)は、真剣な表情でテスト生の動きをチェックしていた。多くの地元住民

が訪れ、野球に夢を抱く若者たちの奮闘を見守った。速投で100メートルを超える野手や速球を投げる投手など、

レベルの高いテスト生が集まった。和歌山FBを運営する田辺市のNPO「ANFUTURE」の谷口弘理事長(69)



和歌山ファイティングバーズの入団テストでキャッチボールをする参加者(田辺市上の山1丁目の田辺スポーツパーク野球場で)